

3月



みかんぐみだより

2020年3月2日

尚徳福祉会 おぐら保育園

みかんぐみ

「〇ちゃんおはよう」と登園してきた友だちの声をかける子、お昼寝から起きて「先生おはよう」とトイレにやってくる子、泣いている子に「〇ちゃんどうしたのかな?」と心配し「おやつ行こう」と誘いに行く子、4月には泣いていた子どもたちがたくさんの言葉を覚え、けんかしたり、いたわったり、よろこんだりと言葉を交わすようになりました。みかん組での最後の1ヶ月、大きくなった子どもたちともも組に向かう日々を楽しく過ごしていきたいと思います。

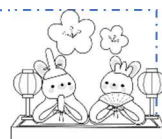
楽しかった節分



節分に向けて「おなかのなかにおにがいる」という絵本を楽しみました。歌「まめまき」「鬼のパンツ」の歌も大好きです。2月の終わりまで♪おにはそとふくはうち〜♪の歌声が聞こえてきました。

時々聞こえてくるのが「おにはうち」の声です。保育室に貼ってある鬼のイラストに、ボールや新聞紙の玉をぶつけています。絵本では「おにはうち」の言葉で鬼が喜んでお腹の中にやってきます。どうかみんなのお腹に鬼が来ませんように……。

もうすぐひなまつり



ひな祭りの制作はコーヒーフィルターに水性ペンで絵を描き、水で濡らしたにじみ絵で着物を作りました。自分で選んだ色でお絵かきし、シュツと水を吹きかけると「うわぁきれい」の声が上がりました。きれいににじんだ紙を別の保育者に見せたくて「みて!できた。」と持ち歩いて喜んでいた子もいました。

翌日には顔に目と口のシールを貼りました。目のシールはとても小さく、指先を懸命に使って貼り、できあがると「できた」と誇らしげに保育者に見せます。お休みの子が着物を作っていると「やりたいの」と言いに来たA君。にじみ絵で一番うれしそうに声を上げていた子でした。何人かが「やりたい」と加わり、もう一度にじみ絵を楽しみました。

ひとりでできるよ みていてね

身の回りのことができる事が増えてきました。靴下や靴の脱ぎ履きは時間をかけて出来るようになっていきます。気持ちが向くか向かないかはその日次第、でも少しだけ時間を多く取ってもらおうと「ひとりでする」と言うことが増えてきました。個人差はありますが、着替え、睡眠、食事、大人が声をかけなくても出来るようになってきました。「やって」と頼む日も大張り切りで「ひとりでできたよ」という日もあります。暖かい日と寒い日をくり返して春になるように、「やって」と「できた」をくり返してできるが増えていく時期です。「ひとりでできるかな?」は魔法の言葉、笑顔で「うん!」とやり始めることが多いです。ぜひお試しください。

1年間ありがとうございました。

1年間、たくさんの楽しい時間を過ごしてきました。先日の身体測定で「おおきくなったんだよ」と嬉しそうに話しに来た子がいました。看護師にかけられた言葉が嬉しかったようです。大きくなることを実感した喜びを感じたようです。1歳児は成長の幅が大きな一年です。個々のペースで一人一人を大切に過ごしてきました。心も体もグッと成長しました。保護者の方と共に悩み喜び、子どもたちの成長に関わっていられたことに感謝いたします。今後の子どもたちの成長を担任一同楽しみにしています。

2019年度みかん組担任

